

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成22年10月14日 (2010.10.14)

【公開番号】特開2008-65336(P2008-65336A)

【公開日】平成20年3月21日 (2008.3.21)

【年通号数】公開・登録公報2008-011

【出願番号】特願2007-232812(P2007-232812)

【国際特許分類】

G 0 3 G 9/08 (2006.01)

G 0 3 G 9/087 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 9/08 3 1 1

G 0 3 G 9/08 3 7 4

G 0 3 G 9/08 3 6 5

G 0 3 G 9/08 3 8 1

【手続補正書】

【提出日】平成22年8月27日 (2010.8.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

4 5 ~ 5 4 のガラス転移温度及び 3 3 0 0 0 ~ 3 7 0 0 0 の分子量を有する第一ラテックスを含むコア、

5 5 ~ 6 5 のガラス転移温度及び 3 3 0 0 0 ~ 3 7 0 0 の分子量を有する第二ラテックスを含み、前記コアを取り巻くシェル、並びに、

少なくとも 2 種の添加剤を含むエマルジョン凝集トナーを含む一成分現像剤であって、
前記エマルジョン凝集トナーが、2 0 g g u ~ 1 2 0 g g u の光沢を有する、前記一成分現像剤。

【請求項 2】

前記エマルジョン凝集トナーが非磁性エマルジョン凝集トナーであって、

前記第一ラテックスが 4 9 ~ 5 3 のガラス転移温度及び 3 4 0 0 0 ~ 3 6 0 0 0 の分子量を有し、前記シェル中のラテックスが 5 6 ~ 6 1 のガラス転移温度及び 3 4 0 0 0 ~ 3 6 0 0 0 の分子量を有し、

更に着色剤を含み、

界面活性剤、凝固剤、及び、それらの任意の混合物からなる群から任意に選択される 1 以上の成分を含む、

請求項 1 に記載の一成分現像剤。

【請求項 3】

スチレンアクリレート、スチレンブタジエン、スチレンメタクリレート、及びそれらの組み合わせからなる群から選択され、4 5 ~ 5 4 のガラス転移温度及び 3 3 0 0 0 ~ 3 7 0 0 0 の分子量を有する第一ラテックスを含むコア、

スチレンアクリレート、スチレンブタジエン、スチレンメタクリレート、及びその組み合わせからなる群から選択され、5 5 ~ 6 5 のガラス転移温度及び 3 3 0 0 0 ~ 3 7 0 0 0 の分子量を有する第二ラテックスを含み、前記コアを取り巻くシェル、並びに、

シリカ、金属酸化物、コロイド状シリカ、チタン酸ストロンチウム、及びそれらの組み合

わせからなる群から選択される少なくとも２種の添加剤を含むエマルジョン凝集トナーを含む一成分現像剤であって、
前記エマルジョン凝集トナーが、２０ｇｇｕ～１２０ｇｇｕの光沢を有する、前記一成分現像剤。

【請求項４】

４５～５４のガラス転移温度及び３３０００～３７０００の分子量を有するラテックス、着色剤水分散液、及び７０～８５の融点を有するワックスの分散液を接触させて、ブレンド液を形成し、
ブレンド液と凝固剤とを混合し、
混合物を加熱して、凝集懸濁液を形成し、
塩基を添加して、ｐＨを４から７の値に増大させ、
凝集懸濁液を加熱して、凝集懸濁液を融合させて、これによりトナーコアを形成し、
５５～６５のガラス転移温度及び３３０００～３７０００の分子量を有する第二ラテックスを凝集懸濁液に添加して、第二ラテックスはトナーコア上にシェルを形成し、
少なくとも２種の添加剤をトナーに添加し、
トナーを回収することを含む方法であって、
前記トナーが、２０ｇｇｕ～１２０ｇｇｕの光沢を有する前記方法。